

# まい 埋やちよ

No. 45

千葉県八千代市  
埋蔵文化財通信

2021. 5.20  
(令和3年)

## 令和2年度を振り返って

本号では、令和2年度の事業内容についてご報告します。

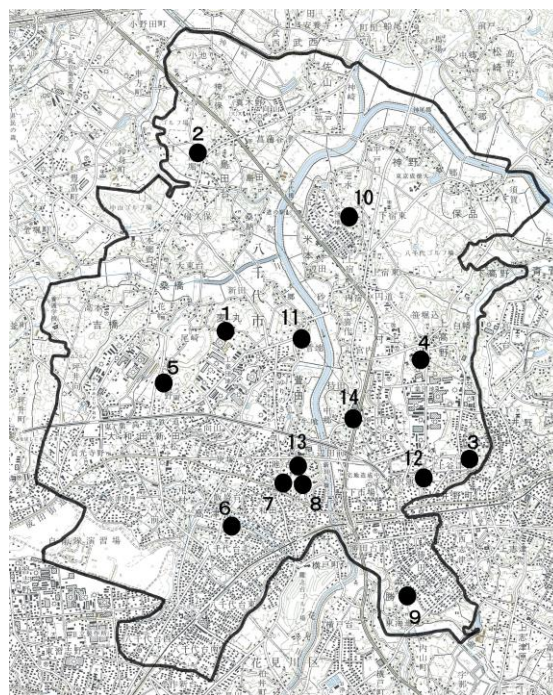
### 発掘調査事業

10 遺跡 11 地点の確認調査（確認・本調査含む）と 5 遺跡の本調査を行いました。個々の調査概要は次頁の表や図を参照してください。

### 整理事業

令和元年度に調査した、市内遺跡確認調査 14 遺跡 17 地点及び米本城跡 b 地点の本整理、令和2年度調査した二重堀遺跡 h 地点の本整理を行い、それぞれ発掘調査報告書を刊行しました。

令和元年度調査した市内遺跡において、令和元年度中に本調査・本整理が行われ、既に報告書が刊行されている神明前遺跡 b 地点を始め、内込遺跡 e 地点、上の山遺跡 d 地点、勝田大作遺跡 e 地点、大山遺跡 e 地点、菅地ノ台遺跡 f 地点、二重堀遺跡 h 地点、殿内遺跡 h 地点において堅穴建物跡等の遺構が検出されました。このうち勝田大作遺跡 e 地点についても令和元年度中に本調査が行われ、上の山遺跡 d 地点、二重堀遺跡 h 地点については令和2年度に本調査が行われています。二重堀遺跡 h 地点については、前述のとおり報告書も刊行されました。遺構が検出された遺跡の内、本調査を行わなかった遺跡については現状保存され、今も地面の下には遺跡が眠っています。



#### 市内遺跡発掘調査報告書掲載遺跡

1 麦丸台遺跡 2 神明前遺跡 3 上谷津台南遺跡 4 上高野大山遺跡 5 大和田新田芝山遺跡 6 内込遺跡 7 北裏畑遺跡 8 上の山遺跡 9 勝田大作遺跡 10 大山遺跡 11 菅地ノ台遺跡 12 二重堀遺跡 13 川崎山遺跡 14 殿内遺跡  
※番号は地図の番号と対応

また、遺構が検出されなかった麦丸台遺跡 d 地点・e 地点、上谷津台南遺跡 j 地点・k 地点、上高野大山遺跡 b 地点、大和田新田芝山遺跡 h 地点、北裏畑遺跡 i 地点、勝田大作遺跡 f 地点、川崎山遺跡 x 地点についても、調査成果を掲載しています。

本調査・本整理が行われた二重堀遺跡は市南東部の上高野地区にあり、新川と佐倉市との市境である小竹川に挟まれた台地のほぼ中央に位置します。h 地点では、縄文時代の

令和2年度 確認調査一覧

遺跡名(地区)	期間	面積(m <sup>2</sup> )	調査概要	備考
麦丸遺跡k地点	4/15～4/23	139.576/1,427	縄文時代土坑1基, 縄文土器	
殿内遺跡i地点	6/2～6/9	112/1,213.35	遺構・遺物なし	
内込遺跡f地点	8/13～8/13	9/95.56	古墳時代後期竪穴建物跡1棟	現状保存
内野遺跡c地点	8/19～8/25	368/3,490	遺構・遺物なし	
高津梅屋敷遺跡f地点	10/12～10/23	284/3,015.71	遺構なし, 縄文土器, 奈良・平安時代土師器	
北海道遺跡b地点	10/20～10/20	20/196	遺構・遺物なし	
殿内遺跡j地点	11/16～11/25	204/2,049.9	古墳時代竪穴建物跡3棟, 奈良・平安時代竪穴建物跡11棟, 土坑4基, 溝状遺構1条, 中・近世土坑1基, 縄文土器, 土師器, 須恵器, 中近世陶磁器	本調査へ
向山遺跡j地点	12/4～12/18	422/4,800	遺構なし, 縄文土器, 奈良・平安時代土師器, 中・近世陶磁器	
七百余所神社古墳a地点	1/14～2/26	56.5/750	古墳時代前期竪穴建物跡2棟, 円墳1基及び周溝3カ所, 縄文土器・石器, 弥生土器, 土師器	現状保存
作ヶ谷津庚申塚	3/11～3/12	9/16	遺構・遺物なし	
小板橋遺跡k地点	3/15～3/15	13/148	遺構・遺物なし	

令和2年度 本調査一覧

遺跡名(地区)	期間	面積(m <sup>2</sup> )	調査概要	備考
逆水遺跡j地点	5/25～6/12	200	中近世土坑1基, 土師器, 近世磁器	
上の山遺跡d地点	4/20～7/1	1,275.38	縄文時代陥穴3基, 弥生時代竪穴建物跡6棟, 古墳時代竪穴建物跡2棟, 奈良・平安時代竪穴建物跡1棟, 弥生土器, 土師器等	
二重堀遺跡h地点	7/15～10/1	698	縄文時代土坑66基, 旧石器時代石器, 縄文土器	報告書刊行
天神遺跡a地点	9/23～1/26	2,100	縄文時代炉穴21基・土坑1基, 奈良平安時代竪穴建物跡3棟, 中世土壘1条・溝堀跡6条・整形区画遺構1基・地下式坑1基・竪穴遺構/土坑13基, 近世墓坑/土坑15基 縄文土器・石器, 弥生土器, 奈良・平安時代土師器・須恵器, 中近世陶磁器	
殿内遺跡j地点	3/8～3/31	444	古墳時代後期竪穴建物跡1棟, 奈良平安時代竪穴建物跡5棟・鍛冶工房跡1棟・掘立柱建物跡5棟・土坑7基・ピット7基	

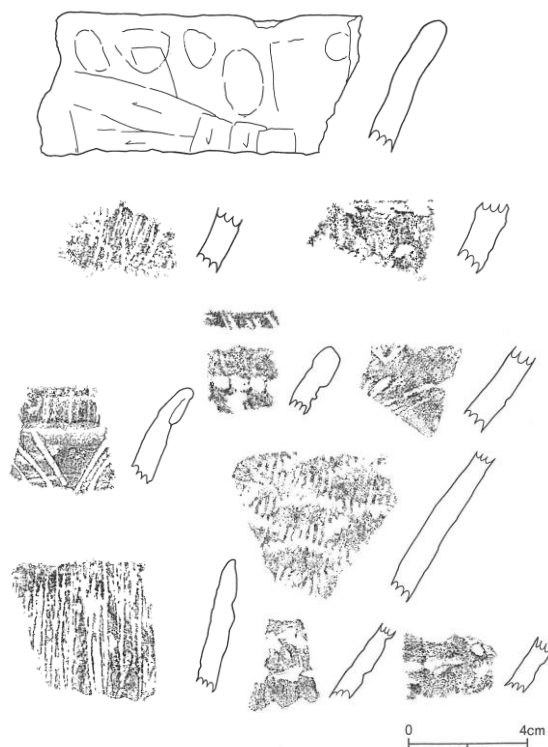
令和2年度 刊行報告書一覧

書名	主な内容	刊行年月日
米本城跡b地点 —共同住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	中近世土壘1条, 溝3条, ピット8基 中国産磁器染付碗, 常滑窯陶器, 瀬戸・美濃窯陶磁器, 土器類等	令和3年3月25日
市内遺跡発掘調査報告書	令和元年度に実施した市内遺跡確認調査14遺跡17地点 遺跡名は本文参照	令和3年3月30日
二重堀遺跡h地点 —宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—	縄文時代土坑66基 旧石器時代石器, 縄文土器	令和3年3月31日

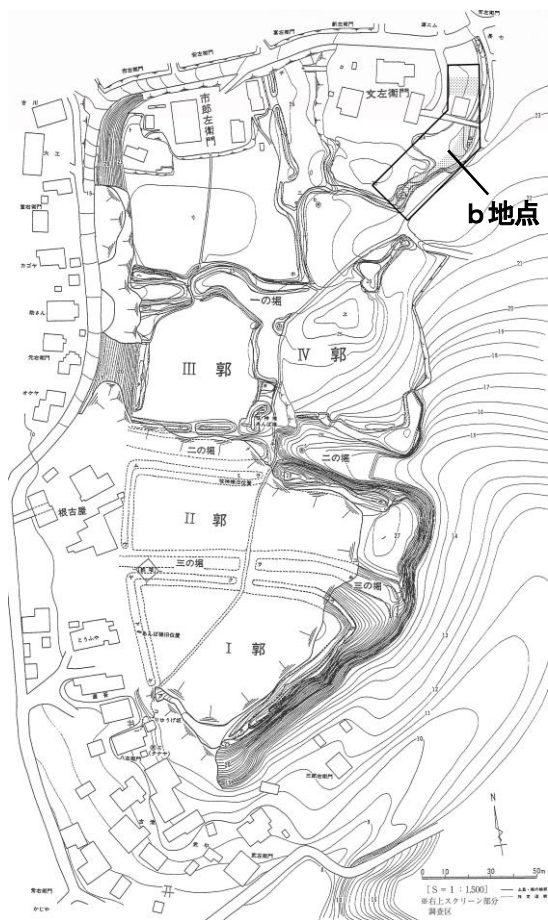
陥穴を含む土坑 66 基が検出されています。

いくつかの土坑から縄文時代前期の土器の欠片が出土していますが、ほとんどの土坑からは遺物の出土がなく、詳細な時期や用途ははっきりしていません。また、土坑の覆土に混ざって、旧石器時代の石器剥片等も出土していることから、旧石器時代の遺構があった可能性があります。

米本城跡は『佐倉風土記』によれば村上民部大夫綱清が最後の城主であったと伝えられ、新川を挟んで位置する、飯綱砦跡遺跡（飯綱神社）に陣を構えた太田道灌により攻め落とされた伝承を持つ戦国期の城郭です。4つの郭からなる直線連郭式の城で、土取りにより主郭部分は失われていますが、南北 300m、東西 150m の規模を持ちます。



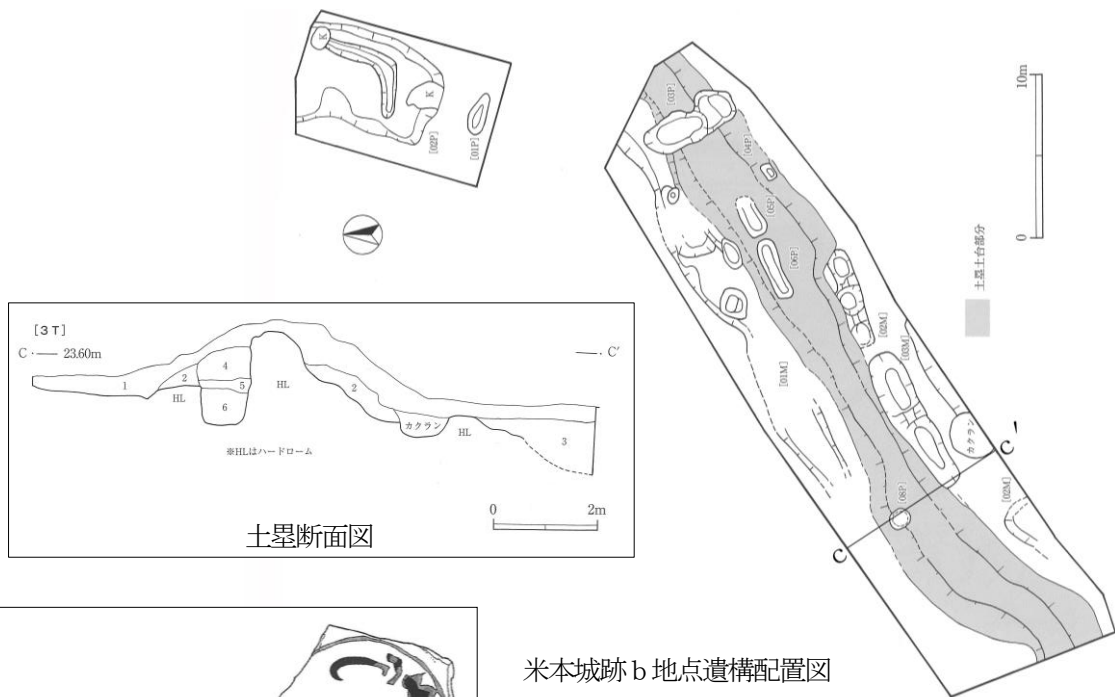
二重堀遺跡h地点出土縄文土器



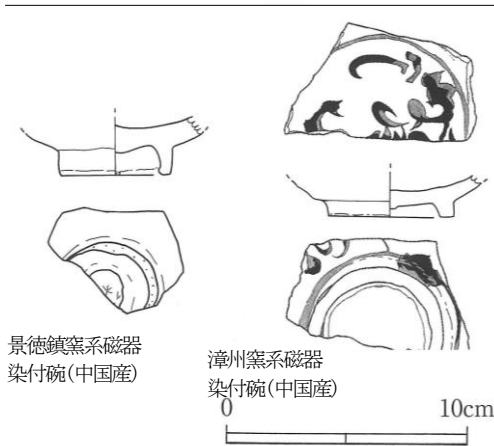
米本城跡測量図

b地点はIV郭の北側に位置し、以前から土塁の存在が指摘されていました。調査の結果、周囲を掘り下げ、地山部分（ハードローム層）を掘り残して土台とした土塁等が確認されています。土塁の内側の一段低い平地には、米本城主村上氏の家老と伝えられる加茂家の現在の邸宅が所在しています。IV郭から連なる防御施設とも考えられますが、中世の米本城に係る遺物として、15世紀の瀬戸・美濃窯産の古瀬戸御目付大皿、常滑窯壺・甕・片口鉢及び16世紀後半を主体として瀬戸・美濃窯総釉小皿・灰釉小皿・播鉢、カワラケ・内耳土鍋・播鉢・火鉢・風炉等の陶磁器や土器等が多く出土しており、希少品として中国産磁器の染付碗なども見つっていますが、日常生活用品の出土が多いことから、城跡ではなく、集落の一部であったと考えることができます。



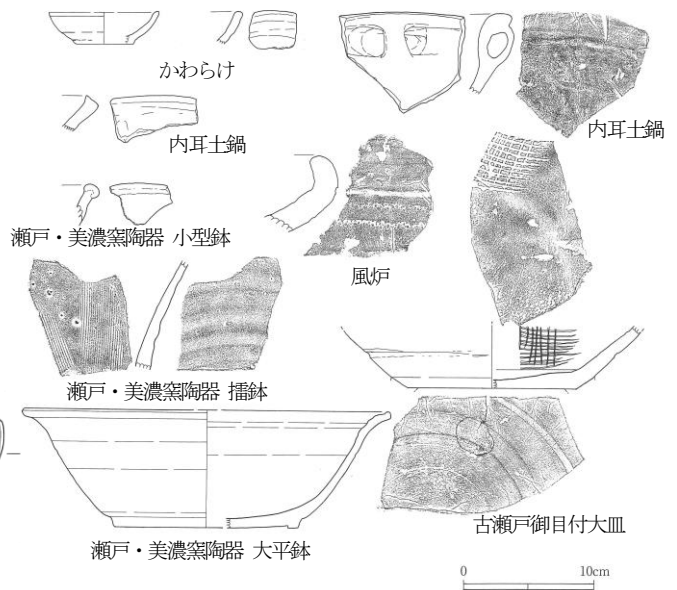


米本城跡b地点遺構配置図

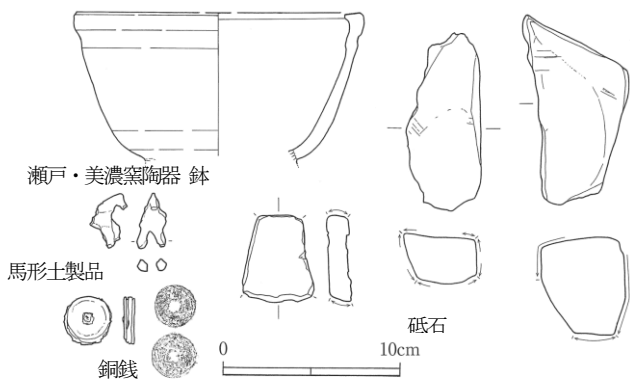


景徳鎮窯系磁器  
染付碗(中国産)

漳州窯系磁器  
染付碗(中国産)



米本城跡b地点出土遺物



**普及・啓発事業**

令和2年度は展示会の開催はしませんでした  
が、多くの市民の皆様に出土文化財をご覧いた  
だけよう、教育委員会庁舎内における展示の  
充実を行っています。

埋(まい)やちよ No.45

—千葉県八千代市埋蔵文化財通信—

令和3年5月20日

編集・発行 八千代市教育委員会



やちよ

文化・スポーツ課文化財班

八千代市大和田 138-2

☎276-0045 📠47(481)0304